

タイムテーブル

- トラック**
- A** ビジネス戦略と価値: チェンジ・メーカーによるインパクトを最適化する
 - B** 信頼、ガバナンス、プライバシー: 緊急性の高い重要課題
 - C** あらゆる場所にアナリティクスを: 意思決定を向上させ、価値を実現する
 - D** 先進テクノロジーとトレンド: イノベーションを解放する
 - B&A** リーダーズサークル

双方向型セッション 【参加対象】★ ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方 ★ D&Aリーダーズ サークルメンバー

9月14日(水)

※同時通訳 海外エキスパートのセッションは英→日

9:15 - 10:00	A ガートナー オープニング基調講演 イノベーションを巻き起こし、不確実性に適応せよ フランク・パウテンダイク/ドナ・メデイロス	
10:15 - 11:00	ゲスト基調講演 デジタルで飲食業の地位向上を目指すCRISPの取り組み 株式会社CRISP 代表取締役CEO 宮野 浩史 氏	
11:20 - 11:50	A データ・ドリブンな組織がバランス良く備えるべき要素 一志 達也	A IT人材増強のトップ・プラクティス アルフレッド・シム
	A データ/アナリティクスのビジネス価値をどうやって向上させるか フランク・パウテンダイク	D データ・サイエンスと機械学習の未来: 無視できない重大トレンド カーリー・アイディーン
12:10 - 12:40	【ランチョン・セッション】 京セラの挑戦、全社データ分析基盤導入による 全員参加型データドリブン経営 [出展: ThoughtSpot合同会社] ThoughtSpot合同会社 有延 敬三/京セラ株式会社 上田 薫夢	【ランチョン・セッション】 「集める、繋げる、整える」データドリブンな 意思決定基盤~論理データファブリックの構築 デノードテクノロジーズ 中山 尚美
	【ランチョン・セッション】 様々な事例からの最適解、データドリブン経営に 欠かせないデータファブリック戦略 NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社 水谷 哲	【ランチョン・セッション】 製造業におけるDXの課題とSASのソリューション事例 SAS Institute Japan株式会社 竹島 邦登
12:55 - 13:40	ゲスト基調講演 新しい「文化・風土」を創り上げたアサヒグループの経営変革 アサヒグループジャパン株式会社 取締役 兼 執行役員 事業企画部長 野村 和彦 氏	
14:00 - 14:30	あらゆるデータとコラボレーションするデータクラウドが 真のデータ民主化を実現 Snowflake株式会社 KT	富士通のDXをドライブさせる新しいデータ戦略の取り組み [出展: フリックテック・ジャパン株式会社] 富士通株式会社 池田 栄次/土井 慶之
14:35 - 14:55	【オープニング・セッション】 近日公開(※逐次通訳) ガレス・ハーシェル	
14:55 - 15:10	【オープニング・セッション】 デジタル時代を生き抜くデータ活用のためのData Stewardとは 株式会社NTTデータ グローバル・サービス 荻戸 翼	
15:15 - 15:45	NECグループのデータプラットフォームを支えるConfluentソリューション [出展: Confluentジャパン合同会社] Confluentジャパン合同会社 勝保 正起/日本電気株式会社 関 徳昭	データとAIのパワーを専門チームからあらゆる業務へと展開するための 企業変化とテクノロジー Dataiku 松島 七衣/桂井 良太
15:55 - 17:25	C 【ワークショップ】 データ&アナリティクスの人材不足にどのように対応するか ★ 植木 康雄	
16:05 - 16:35	A ビジネス・テクノロジストを活用した企業データ分析組織の実現方法 松本 良之	A ビジネスに役立つ評価指標をどうやって作り、広めるか ガレス・ハーシェル
	A 近代的なデータとアナリティクス戦略の基盤 ドナ・メデイロス	C クラウド・プラットフォーム (AWS, Azure, GCP) における データ/アナリティクス・アーキテクチャの構築 ラムケ・ラマクリシュナン
16:45 - 17:30	A 【Ask the Expert】 企業データ分析組織をどう実現するのか ★ 松本 良之	

ガートナー データ & アナリティクス サミット



2022年9月14日(水) - 16日(金) | ANAインターコンチネンタルホテル東京
gartner.com/jp/da

9月15日(木)

※同時通訳 海外エキスパートのセッションは英→日

9:15 - 10:00	ゲスト基調講演 銀行業のデジタル・トランスフォーメーションにおける模索と実践 中国建設銀行 上海ビッグ・データ・インテリジェンス・センター運営責任者 林 建貞 氏	
10:15 - 10:45	アナリティクス活用による攻めのDXの可能性は無限大！ しかしその障壁は？ 突破方法は？ SAS Institute Japan株式会社 小笠原 英彦	現場から始めるデータ活用の民主化と株式会社 LIXIL におけるデータ 活用基盤の取り組み [出展: グーグル・クラウド・ジャパン合同会社] グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 寶野 雄太 / 株式会社LIXIL 原田 華帆
11:05 - 11:35	A データ／アナリティクスで意思決定は改善できるのか ガレス・ハーシェル	B データ活用におけるプライバシー／セキュリティの重要トレンド: 2022年 磯田 優一
	B データとアナリティクスのガバナンスにまつわる基礎と将来 サリー・パーカー	D AIトレンド2022 亦賀 忠明
11:55 - 12:25	【ランチョン・セッション】 データファブリック: いかにして柔軟性、生産性、性能、ガバナンスのバランスを取るか アビニシオソフトウェア株式会社 早瀬 勝	【ランチョン・セッション】 世界のデータ&AI事例から学ぶVUCA時代の 次世代データ基盤「レイクハウス」 データブリックス・ジャパン株式会社 岡本 智史
	【ランチョン・セッション】 PoCからスケールしていますか？ データプロジェクトのアジャイルな進め方 F P T ジャパンホールディングス株式会社 ファビアン・ルディエ	【ランチョン・セッション】 データの力を解放し、データの民主化を実現する クリックテック・ジャパン株式会社 阿部 智師
12:55 - 13:25	A Gartnerの第7回CDOサーベイ (2022年): 先を見越し、パーパスを重視し、浸透させる フランク・パウテンダイク	C DevOpsやDataOpsを通じてアジャイルの原則を取り入れ、 データウェアハウスの自動化を目指す ラムケ・ラマクリシュナン
	D 注力すべきは、価値あるデータ資産の創出と管理 一志 達也	D 予測的／処方的アナリティクスへと拡張して価値を最大化する カーリー・アイディーン
13:45 - 14:15	データの価値を飛躍的に高めるデータ共有サービスを構築するには Yellowfin Japan株式会社 林 勇吾	CXプロジェクト成功への道～マーケティングにおける顧客データ活用を 阻むものは何か？ 株式会社EVERRISE 小木曾 正佳
14:35 - 15:20	ゲスト基調講演 ヘルスケアデータシステムの構築と身体データの可視化で起こすイノベーション 株式会社RDS 代表取締役 / HERO X 編集長 / 4RE 代表 / 上智大学非常勤講師 杉原 行里 氏	
15:25 - 15:45	【オープンシアター・セッション】 近日公開(※逐次通訳) ラムケ・ラマクリシュナン	
15:45 - 16:00	【オープンシアター・セッション】 自然言語理解AIによるSmall Data、Wide Data活用術 スマートインサイト株式会社 町田 潔	
16:00 - 17:00	B 【D&Aリーダーズ・ラウンドテーブル】 データ&アナリティクスの価値を 伝える、説得力のあるバリュー・ストーリーを作る ★ 藤原 恒夫 / 一志 達也	
16:05 - 16:35	A ITスコアを用いて、データ／アナリティクスの成熟度を理解する ガレス・ハーシェル	C データ活用を推進する上でどのような役割を強化すべきか 堀内 秀明
	C CXの先には何があるのか 川辺 謙介	

双方向型セッション [参加対象] ★ ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方 ★ D&Aリーダーズ サークルメンバー

Ask the Expert : 参加者とエキスパートによるQ&Aセッションです。トピックに関する様々な質問にエキスパートが直接回答します。

ワークショップ : エキスパートがファシリテーターを務め、特定のテーマについて深く掘り下げます。

ラウンドテーブル : エキスパートがファシリテーターを務め、参加者と意見交換を行います。

ボードルーム・セッション : ソリューション・プロバイダーのエグゼクティブによる少人数制セッションです。

オープンシアター・セッション : 展示会にて開催するショート・セッションです。参加条件、事前予約は不要ですのでお気軽にご参加ください。

ガートナー データ & アナリティクス サミット



2022年9月14日(水) - 16日(金) | ANAインターコンチネンタルホテル東京
gartner.com/jp/da

9月16日(金)

※同時通訳 海外エキスパートのセッションは英→日

9:15 - 10:00	ゲスト基調講演 教育に科学的根拠を 学びなおしが求められる今、リーダーが再確認しておきたい、教育の意義や在り方 慶應義塾大学 総合政策学部 教授 中室 牧子 氏	
10:15 - 10:45	キーエンスの高収益を支える「データ活用」試行錯誤の歴史とは? 株式会社キーエンス 稲植 朋紘	実践事例に学ぶ データドリブンカンパニー変革の道 ～データ活用を成功させたいリーダー達へ～ 株式会社NTTデータ 重 彰記
11:05 - 11:35	A 持続可能性と地政学を通じて、データ活用を前進させる 藤原 恒夫	B ベスト・プラクティス: 最良のビジネス価値を得るために、 信頼のおけるデータを共有する ドナ・メデイロス
	B マスタ・データ管理の基礎 サリー・パーカー	D Beyond 2030: 企業が生き残るために認識すべき 破壊的トレンドとアクション 亦賀 忠明
11:05 - 11:50	D 【Ask the Expert】 注力すべきは、価値あるデータ資産の創出と管理 ★ 一志 達也 / 堀内 秀明	
11:55 - 12:25	【ランチョン・セッション】 データドリブンな意思決定に役立つデジタルインテリジェンスとは? シミラーウェブジャパン株式会社 松倉 和也	【ランチョン・セッション】 リアルタイムデータとオープンソースの利活用 DataStax 木本 吉信
	【ランチョン・セッション】データコラボレーションとマーケットプレイス ーデータ共創により加速するDX Snowflake株式会社 井口 和弘	
12:55 - 13:40	A 【パネル・ディスカッション】データ人材の採用、育成、活躍をいかにリードするか 一志 達也 パネリスト: 慶應義塾大学 中室 牧子 氏 / 一般社団法人データサイエンティスト協会 高橋 隆史 氏 / 三井住友海上火災保険株式会社 本山 智之 氏	
13:50 - 14:35	【ボードルーム・セッション】 ROIC経営の定着とそのためのデータ管理基盤とは ★ クリックテック・ジャパン株式会社 今井 浩	
14:00 - 14:30	データレイクハウスの未来: 国内先進企業の実例とモダンデータアーキテクチャの動向 Cloudera株式会社 大澤 毅	実録! データ活用の泥臭さと戦った者たち ー事例に学ぶ「データからビジネス成果を生むコツ」 ウイングアーク1st株式会社 小林 大悟
14:40 - 14:55	【オープンシアター・セッション】世界の先進企業が取り組むデータ分析の 課題とケーススタディ [出展: Vertica] マイクロフォーカス 外岡 海人	
15:00 - 15:45	A 【Ask the Expert】日本でデータ主導の文化を採用するために ★ 藤原 恒夫	
15:15 - 15:45	A MDMIは、ビジネスのどこに、どのように価値をもたらすか サリー・パーカー	C データベースの移行: そのメリットとデメリット ラムケ・ラマクリシュナン
	D データとアナリティクスにおけるギグ・ワーカーの活用動向 中尾 晃政	
15:15 - 16:45	A 【ワークショップ】データ&アナリティクスの成熟度を測定し、 デジタル・ビジネスの高みを目指す ★ 大澤 佳史	
16:05 - 16:35	A データ・ドリブンの基礎: データ・リテラシーとデータ・ドリブンな ビジネス・トランスフォーメーションに着手する ドナ・メデイロス	C データ活用にあつかわるよくある悩みへの処方箋 堀内 秀明
	C モジュール型のアナリティクスをビジネス指向で構築するために、 コンポーザブルなデータ/アナリティクスを用いる カーリー・アイディーン	
16:05 - 16:50	D 【Ask the Expert】新たな時代に向けて獲得すべきマインドセット ★ 亦賀 忠明	

セッション概要

表記について

ガートナーセッションには、トラック名と関連トピックスが付いています。セッション選択の参考にしてください。

同時通訳 海外エキスパートのセッションは英語→日本語

9月14日(水) 9:15-10:00 (45min)

ビジネス戦略と価値

【ガートナー オープニング基調講演】 イノベーションを巻き起こし、不確実性に適応せよ

シニア ディレクター, アナリストドナ・メデイロス

ディスティングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト フランク・パウテンダイク

組織はこの2年、大きな変化の渦に巻き込まれ、劇的に変化を遂げてきた。データとアナリティクスは、こうした変化の推進、実現、対応に重要な役割を果たしてきた。「いつか元に戻る」と考えたくもなるが、後戻りする必要はなく、今を生きていくしかないだろう。不確実性が続くこの世界では、データとアナリティクスによるイノベーションを駆使して、組織が求める成果を実現しなければならない。

関連トピックス リーダーシップ

9月14日(水) 15:55-17:25 (90min)

あらゆる場所にアナリティクスを

【ワークショップ】 データ&アナリティクスの人材不足に どのように対応するか

エグゼクティブ パートナー (ガートナー エグゼクティブ プログラム) 植木 康雄

デジタル・ビジネスの課題解決には、データ&アナリティクスの取り組みが不可欠となるが、多くの企業では、その役割を担う人材や体制の構築が課題になっているのではないだろうか。本ワークショップでは、そのような課題への取り組み事例等も紹介しながら、データ&アナリティクスの人材をどのように獲得・育成していくかを一緒に考察する。

【参加対象】 ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
定員制につき、お席に限りがございます。

関連トピックス リーダーシップ、CDOの役割と必要性、
データとアナリティクスのスキル構築

トラック

ビジネス戦略と価値

チェンジ・メーカーによる
インパクトを最適化する

信頼、ガバナンス、プライバシー

緊急性の高い重要課題

あらゆる場所にアナリティクスを
意思決定を向上させ、
価値を実現する

先進テクノロジーとトレンド

イノベーションを解放する

D&Aリーダーズ サークル

セッションタイトル スピーカー セッション概要

双方向型セッション

※参加条件がございます。

【参加対象】

★ ユーザー企業、ユーザー
企業の情報子会社の方

★ D&Aリーダーズ サークル
メンバー限定

9月14日(水) 9:15-10:00 (45min)

ビジネス戦略と価値

【ガートナー オープニング基調講演】 イノベーションを巻き起こし、不確実性に適応せよ

シニア ディレクター, アナリスト ドナ・メデイロス

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト フランク・パウテンダイク

組織はこの2年、大きな変化の渦に巻き込まれ、劇的に変化を遂げてきた。データとアナリティクスは、こうした変化の推進、実現、対応に重要な役割を果たしてきた。「いつか元に戻る」と考えたくもなるが、後戻りする必要はなく、今を生きていくしかないだろう。不確実性が続くこの世界では、データとアナリティクスによるイノベーションを駆使して、組織が求める成果を実現しなければならぬ。

関連トピックス リーダーシップ

9月14日(水) 10:15-11:00 (45min)

【ゲスト基調講演】デジタルで飲食業の地位向上を目指すCRISPの取り組み

株式会社CRISP 代表取締役CEO 宮野 浩史 氏

コロナが飲食業に影を落とす以前から、デジタル技術を駆使し、キャッシュレスやモバイルオーダーに対応したカスタムサラダ専門店を運営するCRISP。顧客体験の向上はもちろん、スタッフの働き方を含めた飲食業全体の地位向上を目指す、という自社のビジョンに取り組みの原点がある。その実現に向けて、他の飲食店でもモバイルオーダーなどを低予算かつ迅速に導入できるソリューションを展開し、そこで蓄積されたデータ活用を促している。本セッションでは、ビジョンを掲げて共感を得ることの重要性とともに、真のDXが社会にもたらす影響力を再確認する。

9月14日(水) 11:20-11:50 (30min)

ビジネス戦略と価値

データ・ドリブンな組織がバランス良く備えるべき要素

シニア ディレクター, アナリスト 一志 達也

データ・ドリブンでありたい、どうすれば理想を実現できるか、と考えるDAリーダーは少なくない。そして、それが簡単でないことは承知しているが、何をどう身に付ければよいかを整理できていない場合が多い。本セッションでは、データ・ドリブンの本質や実践する組織の特性を理解し、そのために何が欠かせないのかを整理する。さらに、データ・ドリブン性を獲得するための戦略や具体的な手段について解説する。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、リーダーシップ、データとアナリティクスのガバナンス、データとアナリティクスの戦略全般、データ・リテラシー、CDOの役割と必要性

9月14日(水) 11:20-11:50 (30min)

ビジネス戦略と価値

IT人材増強のトップ・プラクティス

ディレクター, アドバイザリ アルフレッド・シム

IT人材不足への対応は、ほぼすべての日本企業にとって喫緊の課題である。しかし、国内の人材市場が小さいため、中途採用による補充は極めて難しい。そのため、CIOとITリーダーは、育成に投資し人材を増やしていかなければならない。本セッションでは、IT人材の増強に成功した企業の取り組みを解説する。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、リーダーシップ

9月14日(水) 11:20-11:50 (30min)

ビジネス戦略と価値

データ／アナリティクスのビジネス価値を どうやって向上させるか

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト フランク・パウテンダイク

データ／アナリティクスと測定可能なビジネス成果は、容易に整合できるようにしておくべきだが、ビジネス価値を明確にし、追跡し、把握することは依然として困難である。「測定可能な価値を示すのは難しい」ものの、不可能でないことも分かっている。本セッションでは、バリュー・ストーリーを作成する方法、イニシアティブに優先順位を付ける方法、価値を定量化する方法を紹介する。

関連トピックス 最高データ責任者の役割と必要性、リーダーシップ、データとアナリティクスの戦略全般

9月14日(水) 11:20-11:50 (30min)

先進テクノロジーとトレンド

データ・サイエンスと機械学習の未来: 無視できない重大トレンド

バイス プレジデント, アナリスト カーリー・アイディーン

本セッションでは、拡張アナリティクス、MLOps、全社的なデータ・サイエンス・イニシアティブの管理とガバナンス、選ぶべきプラットフォームなど、機械学習とデータ・サイエンスの世界に影響を与える最新トレンドを概説する。また、いくつかの誤解や注意点、さらなる成果を期待できる組織となる方法についても解説する。

関連トピックス データ・サイエンスと機械学習

9月14日(水) 12:10-12:40 (30min)

【ランチョン・セッション】京セラの挑戦、全社データ分析 基盤導入による全員参加型データドリブン経営

[出展: ThoughtSpot合同会社]

ThoughtSpot合同会社 有延 敬三 / 京セラ株式会社 上田 童夢

京セラは、事業領域が多岐に渡ることもあり、各事業部がそれぞれにデータベースを保有しており、事業領域を横断した経営データ(受注、売上、在庫など)の分析が難しいという課題がありました。また、データ件数が多くデータ処理に時間を要し、ユーザ部門によるデータ分析が進んでいませんでした。データ分析機能を強化し、新たなサービスや製品の創造などの改革を早めることで、企業の競争優位性を高めることが急務だった京セラが、全社データ分析基盤のアナリティクスとしてなぜThoughtSpotを選択したのかに加え、全社25,000人へ展開するためのステップ、社内ステークホルダーとの連携方法、適切な成功指標の設定や定量的な改善効果などについてお話しいただきます。

関連トピックス アナリティクスとBI、セルフサービス、拡張アナリティクス

9月14日(水) 12:10-12:40 (30min)

【ランチョン・セッション】「集める、繋げる、整える」データ ドリブンな意思決定基盤～論理データファブリックの構築

デノードテクノロジーズ 中山 尚美

データ活用によるデジタルトランスフォーメーションやビジネストランスフォーメーションが求められる今、迅速かつ効率的にデータを収集、統合、活用してデータドリブンな意思決定を実現することが競争優位性や差別化にとって非常に重要です。本講演では、社内外に散在する多種多様なデータを迅速に「集める、繋げる、整える」ことでデータドリブンな意思決定を可能にする論理データファブリックの概要を国内外の事例とともにご紹介いたします。

関連トピックス データとアナリティクスの戦略全般、データ統合、データ・ファブリック

9月14日(水) 12:10-12:40 (30min)

【ランチョン・セッション】様々な事例からの最適解、データドリブン経営に欠かせないデータファブリック戦略

NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社 水谷 哲

デジタル化が急加速する中、データドリブン経営への転換が急務となり、経営判断に資するデータの「量」だけでなく「質」に注目が集まっています。激しい経営環境の変化に対応できるカギは、データ資産の柔軟性です。あらゆるデータが「信頼」「随時」「即時」を備えた状態。IT戦略の中心は「データの蓄積」から「データファブリック(広範なデータを素早く活用)」へ移りつつあります。この実現には発想の転換が必要です。従来はデータ活用するだろ人のため、データ流通を「作ろう」と考えました。データファブリックはデータを活用する人が困らないよう、データが流通しない綻びを「繕う」と考えます。単純にデータを流通するだけではなく、業務の一環としてデータに向き合える状態にするのです。

本講演では複数のプロジェクトを通じて見えてきた、データファブリック実現の組織論、および実用的なテクノロジーについて解説します。また、概念の具現化を小さくはじめ、基盤へと拡大する方法論とITツールの活用例をご紹介します。

関連トピックス アナリティクスとBI、マスタ・データ管理、データ統合

9月14日(水) 12:10-12:40 (30min)

【ランチョン・セッション】製造業におけるDXの課題とSASのソリューション事例

SAS Institute Japan株式会社 竹島 邦登

製造業におけるDXはビッグデータにはじまり、IoT、スマートファクトリー、インダストリー4.0などかねてよりホットトピックスにあふれた領域ですが、その一方でなかなか思ったように進まないという企業も散見されます。小職はこれまで多くのお客様と会話を重ね、推進部隊と現場との意識の乖離や現場が肌感覚で成果を得られるのか?を目の当たりにし、真摯に対応してきました。当セッションでは製造業におけるDX推進において、改めて何が課題になっているのか、それに対してSASがどういった取り組みをしているのかについて事例を交えてご紹介致します。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、データとアナリティクスの戦略全般、モノのインターネット

9月14日(水) 12:55-13:40 (45min)

【ゲスト基調講演】新しい「文化・風土」を創り上げたアサヒグループの経営変革

アサヒグループジャパン株式会社 取締役 兼 執行役員 事業企画部長 野村 和彦 氏

急激に変化するビジネス環境やお客様の価値観の多様化に対応する為、アサヒグループでは従来の業界常識に縛られない柔軟で新しいアプローチが求められています。「データに基づき、データを武器として活用できる事業推進」や「飲食を楽しむ為の新価値創造」の取組み実現に向け、経営にどのように働きかけてデジタルトランスフォーメーションを推進し、これまでの価値観に基づいた経営から、アサヒの「新しい常識」を創り上げる変革に必要な「投資」や「組織作り」を推進してきたか、その一端をご紹介します。

9月14日(水) 14:00-14:30 (30min)

あらゆるデータとコラボレーションするデータクラウドが真のデータ民主化を実現

Snowflake株式会社 KT

あらゆる業務や人々のアクションがデータに記録される時代になりました。その結果、データ量は増え、種類も形も様々です。こうしたあらゆるデータを組織内で共有し、活用できるようにしてきたデータウェアハウスやデータレイクの技術は以前より格段に高速かつ柔軟に処理できるようになりました。一方で、加速する世界は自組織のデータだけを見ても正しい意思決定をもたらしません。自社製品・サービスと並び立つ競合、市場、ソーシャルのトレンド、人口、気候や人流などの外的要因、こうした環境の中にある自組織の状態を相対的に見つめなければ、データ活用による最適な意思決定など不可能なのです。本セッションでは、クラウドネイティブなアーキテクチャを使いこなし、プラットフォームに集約したデータやアプリケーションを即時に共有できる「データクラウド」が、みなさんにどのようなビジネスバリューをもたらすかご紹介致します。

関連トピックス データ・レイク、データウェアハウジング、データ共有

9月14日(水) 14:00-14:30 (30min)

富士通のDXをドライブさせる新しいデータ戦略の取り組み [出展: クリックテック・ジャパン株式会社]

富士通株式会社 池田 栄次 / 土井 慶之

昨今のパンデミックや紛争、気候変動等によりビジネス環境はますます不透明になりつつある今日、企業はもはや「過去」を確認するだけではなく、リアルタイムのデータ分析を通じて「明日」を予測し、「今」行動することが求められている。「アクティブインテリジェンス」と呼ばれる、この新しいデータ戦略を実現するため、富士通ではパーパスドリブンの考えに基づくDXプロジェクトである「Fujitsu Transformation (通称:フジトラ)」を2020年より開始。「One Data」を掲げ、データアナリティクスセンターを中心にデータを利活用できる全社的な仕組みの構築を目指している。本講演では富士通のデータとアナリティクス推進の戦略と実践を具体的に解説する。

関連トピックス アナリティクスとBI、データ統合、データとアナリティクスのサービス・プロバイダ → 「アナリティクスとBI、データ統合、データとアナリティクスの戦略全般」

9月14日(水) 14:35-14:55 (20min)

【オープンシアター・セッション】近日公開(※逐次通訳)

バイス プレジデント, アナリスト ガレス・ハーシェル

9月14日(水) 14:55-15:10 (15min)

【オープンシアター・セッション】デジタル時代を生き抜くデータ活用のためのData Stewardとは

株式会社NTTデータ グローバル・サービス 荻戸 翼

企業経営のDX推進により重要な意思決定や経営改善に向けた業務効率化の基盤となっているデータ活用。製造データ、販売データ、顧客データなど蓄積されるほぼ全てのデータがデジタル化されている現在。

その膨大なデータを最大限に活用できるかは、データを扱う人のスキルやデータマネジメントツールに依存するのはもちろんのこと、企業のデータ活用で注目されているData Steward(データ資産管理)の取り組みが重要となっている。

【Data Stewardの活動】

1. 主要メタデータの作成と管理
2. ルールと標準の文書化
3. データ品質課題の管理
4. データガバナンス業務の諸活動の実施

様々なシステムから集約されてくるデータをモニタリングし、すぐに活用できる品質の良いデータの状態を維持・管理するData Stewardでやるべきこと、実際の業務内容などをご紹介します。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、マスター・データ管理、データ品質

9月14日(水) 15:15-15:45 (30min)

NECグループのデータプラットフォームを支える

Confluentソリューション [出展: Confluentジャパン合同会社]

Confluentジャパン合同会社 勝俣 正起 / 日本電気株式会社 関 徳昭

NECグループでは現在約150のDXプロジェクトが進んでおり、正に変革の真っ只中です。その全てに共通するのが「データ活用」であり、データドリブン経営を実現するために「One NEC Data Platform (ODP)」が構築されました。社内に存在した数百の個別システムは、コード体系がそれぞれ異なったり、データ保管も分散されたり、またデータの意味も不明な状況もありましたが、それらを解決するために前述ODP基盤としてConfluent Data in Motionソリューションが採用され、本年2022年から本格稼働が始まりました。当セッションでは、業界標準のオープンソースソフトウェア「Apache Kafka」の商用・強化版であるConfluentを活用しながら、NEC自社内のDX推進を加速化させた方法をご紹介します。

関連トピックス データとアナリティクスの戦略全般、データとアナリティクスのテクノロジー、データ統合

9月14日(水) 15:15-15:45 (30min)

データとAIのパワーを専門チームからあらゆる業務へと展開するための企業変化とテクノロジー

Dataiku 松島 七衣 / 桂井 良太

不確実性の時代、多くの企業がデータ活用の重要性を理解し、専門チームを立ち上げ取り組みを始めています。しかし、少なくない数の企業が、画期的なユースケースで高い精度のAIを実現したいという理想と、これを実現するための人材の不足に悩まされています。

データとAIの活用をビジネス成長のドライバーとするには、発想の転換が必要です。少数精鋭による傑出したプロジェクトよりも、さまざまな業務やユーザーへと範囲を広げた多数のAIプロジェクトを通じて企業全体で業務の効率化や生産性を着実に向上することが求められます。

本セッションでは、データとAIの活用を専門チームからあらゆる業務へと展開し運用するために、企業に求められる変化とテクノロジーについてお話しします。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、人工知能 (AI)、データ・サイエンスと機械学習

9月14日(水) 15:55-17:25 (90min)

あらゆる場所にアナリティクスを

【ワークショップ】

データ&アナリティクスの人材不足にどのように対応するか



エグゼクティブ パートナー(ガートナー エグゼクティブ プログラム) 植木 康雄

デジタル・ビジネスの課題解決には、データ&アナリティクスの取り組みが不可欠となるが、多くの企業では、その役割を担う人材や体制の構築が課題になっているのではないだろうか。本ワークショップでは、そのような課題への取り組み事例等も紹介しながら、データ&アナリティクスの人材をどのように獲得・育成していくかを一緒に考察する。

【参加対象】 ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
定員制につき、お席に限りがございます。

関連トピックス リーダーシップ、CDOの役割と必要性、データとアナリティクスのスキル構築

9月14日(水) 16:05-16:35 (30min)

ビジネス戦略と価値

ビジネス・テクノロジストを活用した企業データ分析組織の実現方法

ディステイングイッシュト バイス プレジデント、アドバイザー 松本 良之

デジタル・トランスフォーメーションを実現する上で企業のデータ分析力は極めて重要である。グローバルの成功事例では、社内ユーザー部門のビジネス・テクノロジストからデータ分析の先駆者を発掘し、全社のデータ分析力を高めている。本セッションは、Gartnerの事例調査に基づき、ビジネス・テクノロジストの実態と企業内のデータ分析人材の育成方法について解説する。

関連トピックス CDOの役割と必要性、リーダーシップ、データとアナリティクスの戦略全般

9月14日(水) 16:05-16:35 (30min)

ビジネス戦略と価値

ビジネスに役立つ評価指標をどうやって作り、広めるか

バイス プレジデント、アナリスト ガレス・ハーシェル

本セッションでは、データ/アナリティクス・リーダーを対象に、組織のパフォーマンスを測定し、評価する能力を強化する方法に加えて、優れた評価指標の価値に対して理解を求めする方法を解説する。

- ・ 記述的な評価指標にとどまらず、より診断的、予測的、処方的な評価指標へと移行するにはどうしたらよいか
- ・ AI、データ・サイエンス、IoTを活用して、よりの確で正確な測定システムを構築するにはどうしたらよいか

関連トピックス アナリティクスとBI、データとアナリティクスのスキル構築、データとアナリティクスの戦略全般

9月14日(水) 16:05-16:35 (30min)

ビジネス戦略と価値

近代的なデータとアナリティクス戦略の基盤

シニア ディレクター、アナリスト ドナ・メデイロス

「データとアナリティクスの戦略はどうあるべきか」という質問が、Gartnerのデータとアナリティクスのリサーチ・コミュニティに多数寄せられている。その理由は、データとアナリティクスの役割が変わりつつあるからである。データとアナリティクスは、1つの専門領域から、デジタル戦略やトランスフォーメーションをも支援する一連の広範なケイパビリティに変わろうとしている。

本セッションでは、そのベスト・プラクティスを解説する。

関連トピックス 最高データ責任者の役割と必要性、データとアナリティクスの戦略全般

9月14日(水) 16:05-16:35 (30min)

あらゆる場所にアナリティクスを

クラウド・プラットフォーム (AWS、Azure、GCP) におけるデータ／アナリティクス・アーキテクチャの構築

シニア ディレクター, アナリスト ラムケ・ラマクリシュナン

クラウド・プラットフォームには、論理DWH、サーバーレスやストリーミング、アナリティクスとデータサイエンスのツールなどが関わる複雑なユースケースを解決し、最適なデータ／アナリティクス・アーキテクチャを設計／構築する機会がある一方で、新たな課題も生み出す。

本セッションでは、ネイティブ／ハイブリッド／マルチクラウドのユースケース・シナリオにおいて、一貫性のある統合データ／アナリティクス・エコシステムのリファレンス・アーキテクチャを構築できるよう、AWS、Azure、GCPのさまざまなコンポーネントについて解説する。

関連トピックス クラウド・アナリティクス、サービスとしてのデータ、クラウド・データ管理、情報アーキテクチャ

9月14日(水) 16:45-17:30 (45min)

ビジネス戦略と価値

【Ask the Expert】



企業データ分析組織をどう実現するのか

ディスティングイッシュト バイス プレジデント, アドバイザリ 松本 良之

本セッションは、「ビジネス・テクノロジストを活用した企業データ分析組織の実現方法」をもとに、データ分析組織について、Gartnerのエキスパートが回答する。

(ご参加に際しましては、質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】 ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
定員制につき、お席に限りがございます。

関連トピックス CDOの役割と必要性、リーダーシップ、データとアナリティクスの戦略全般

9月15日(木) 9:15-10:00 (45min)

【ゲスト基調講演】銀行業のデジタル・トランスフォーメーションにおける模索と実践

中国建設銀行 上海ビッグ・データ・インテリジェンス・センター運営責任者 林 建貞 氏

デジタル・エコノミー時代において、デジタル・トランスフォーメーションは商業銀行が将来的に発展する上で必然の流れである。世界全体を見渡すと、近年各国の商業銀行は相次いでデジタル・トランスフォーメーション戦略を打ち出しており、そのために莫大な資金と人的コストを投入している。中国建設銀行では2010年当初からデジタル・トランスフォーメーションに着手しており、デジタル・ミドル・オフィスの構築によりエンタプライズ・レベルの「データ&アナリティクス」インテリジェンス・センターを実現した。デジタル・トランスフォーメーションを積極的に模索し、実践することで、銀行を新たな発展の軌道に乗せている。

9月15日(木) 10:15-10:45 (30min)

アナリティクス活用による攻めのDXの可能性は無限大！しかしその障壁は？ 突破方法は？

SAS Institute Japan株式会社 小笠原 英彦

昨今、どの企業も何らかの形でDXの取り組みを進めています。仮に、DXを攻めと守りの領域で分けると、攻めはデータ&アナリティクスの価値から業務変革のROI最大化を志向していくもの、守りはデジタル化やRPA導入など効率化を志向したものに区分されると考えます。

特に、攻めのDXを自社の競争力の源泉として活かし、成功しつつある企業はまだまだ少数であり、故に無限の可能性があると考えています。また、どの業種においても存在するバリューチェーンの広い全体視点から、攻めのDX変革テーマを探してみれば、如何に多くのテーマが顕在化/潜在化しているだろうか？

弊社はこれまで多くのお客様に対して、個別の分析業務からその成果を業務プロセスへ反映させるお手伝いや、DX推進組織の組成および推進の支援をして参りました。本セッションでは、製造業のバリューチェーンを一例として、弊社が推進してきたDX推進のアプローチおよび実践方法、組織論について事例を交えてご紹介致します。

関連トピックス 人工知能(AI)、データとアナリティクスの戦略全般、リーダーシップ

9月15日(木) 10:15-10:45 (30min)

現場から始めるデータ活用の民主化と株式会社 LIXIL におけるデータ活用基盤の取り組み

[出展: グーグル・クラウド・ジャパン合同会社]

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 寶野 雄太 / 株式会社LIXIL 原田 華帆

企業は不確実性が高まる中、データを活用した経営判断が必須となってきています。そのためには企業に存在するデータの活用、適切な人がデータを参照できる民主化が必要です。そこで、本セッションでは、Google Cloud が考える最新データ活用方法と、株式会社 LIXIL 様をお招きして、同社におけるデータ活用基盤の構築と、データ人材の育成、その成果をお話しいたします。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、データとアナリティクスのガバナンス、クラウド・アナリティクス、サービスとしてのデータ、クラウド・データ管理

9月15日(木) 11:05-11:35 (30min)

ビジネス戦略と価値

データ／アナリティクスで意思決定は改善できるのか

バイス プレジデント, アナリスト ガレス・ハーシェル

「データ・ドリブンな意思決定」が話題であるが、それは本当に必要とされているのだろうか。調査データと、行動心理学に関する広範なリサーチを組み合わせた本セッションでは、組織内で意思決定がどのように捉えられているか、そしてハード・データとソフト・ナッジを組み合わせて意思決定をどのように改善できるかについて概説する。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、リーダーシップ

9月15日(木) 11:05-11:35 (30min)

信頼、ガバナンス、プライバシー

データ活用におけるプライバシー／セキュリティの重要トレンド: 2022年

バイス プレジデント, アナリスト 磯田 優一

日本の改正個人情報保護法の全面施行や、関連する新たなテクノロジーの台頭などを背景に、企業ではデータ活用におけるプライバシー／セキュリティの取り組みを新たなステージへと進化させることが急務になっている。

本セッションでは、データ活用において押さえておくべきプライバシーとセキュリティの重要トレンドを取り上げて解説する。

関連トピックス コンプライアンスと法規制、プライバシーと倫理

9月15日(木) 11:05-11:35 (30min)

信頼、ガバナンス、プライバシー

データとアナリティクスのガバナンスにまつわる基礎と将来

シニア ディレクター, アナリスト サリー・パーカー

ポリシー、コンプライアンス、エンフォースメント(法制/ルールの実効性の確保)のみに注力する従来型のデータとアナリティクスのガバナンスは、今日のデジタル・ビジネスでは時代遅れである。デジタル・ビジネスの取り組みを成功させるために急務となっているのは、ビジネスの状況に応じて自在に伸縮できる適応型のガバナンスの採用である。

本セッションでは、現在のガバナンス・プラクティスが不十分である理由と、成果向上のために適応型のガバナンス・プラクティスをどのように採用できるかについて解説する。

関連トピックス データとアナリティクスのガバナンス

9月15日(木) 11:05-11:35 (30min)

先進テクノロジーとトレンド

AIトレンド2022

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト 亦賀 忠明

AIブームが本格化してから5年以上が経過した。ユーザー企業の間では、AIを次世代に生き残るための必要不可欠なリテラシーとして捉え、全社規模の展開へと拡大する動きが出てきている。一方で、AIについて何をどうしてよいか分からないという企業も多く存在する。

本セッションでは、AIの現状を整理し、ユーザー企業が取るべきアクションを提示する。

関連トピックス 人工知能(AI)

9月15日(木) 11:55-12:25 (30min)

【ランチョン・セッション】データファブリック: いかにして柔軟性、生産性、性能、ガバナンスのバランスを取るか

アビニシオソフトウェア株式会社 早瀬 勝

データファブリックにおける自由度は往々にして会社のガバナンス規定と相反することがある。Ab Initioのメタデータ駆動アプローチは、データとデータモデルを扱う際に、異なる組織が全体的な標準を継承しながら個別化することを可能にしている。しかし、この種の高度にバランスされ自由度を持つData Fabricを構築することは従来のSIプロジェクトとは完全に異なるものであり、エンドユーザーが持っている知識が非常に重要な鍵となる。本セッションでは、いかにしてユーザがこの種のシステムを構築できるかについて、過去の事例を基にして説明をする。

関連トピックス データとアナリティクスのガバナンス、データ・ファブリック、データ品質

9月15日(木) 11:55-12:25 (30min)

【ランチョン・セッション】世界のデータ&AI事例から学ぶVUCA時代の次世代データ基盤「レイクハウス」

データブリックス・ジャパン株式会社 岡本 智史

データウェアハウス、データレイク、ETL、BI、AI/機械学習などのDBや処理がサイロ化し、その連携や運用に課題を抱えていらっしゃいませんか?データの利活用を阻む様々なデータのサイロ化を、これまで分断されていた分析、データサイエンス、機械学習を統合した次世代型データ基盤「レイクハウス・プラットフォーム」によって解決する方法を、海外の事例も踏まえて説明します。

関連トピックス データ・レイク、データウェアハウジング、データ・サイエンスと機械学習

9月15日(木) 11:55-12:25 (30min)

【ランチョン・セッション】PoCからスケールしていますか? データプロジェクトのアジャイルな進め方

FPTジャパンホールディングス株式会社 ファビアン・ルディエ

昨今、どの企業も何らかの形でDXの取り組みを進めています。仮に、DXを攻めと守りの領域で分けると、攻めはデータ&アナリティクスの価値から業務変革のROI最大化を志向していくもの、守りはデジタル化やRPA導入など効率化を志向したものに区分されると考えます。

特に、攻めのDXを自社の競争力の源泉として活かし、成功しつつある企業はまだまだ少数であり、故に無限の可能性があると考えています。また、どの業種においても存在するバリューチェーンの広い全体視点から、攻めのDX変革テーマを探してみれば、如何に多くのテーマが顕在化/潜在化しているだろうか?

弊社はこれまで多くのお客様に対して、個別の分析業務からその成果を業務プロセスへ反映させるお手伝いや、DX推進組織の組成および推進の支援をして参りました。本セッションでは、製造業のバリューチェーンを一例として、弊社が推進してきたDX推進のアプローチおよび実践方法、組織論について事例を交えてご紹介致します。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、クラウド・アナリティクス、サービスとしてのデータ、クラウド・データ管理、データとアナリティクスのサービス・プロバイダ

9月15日(木) 11:55-12:25 (30min)

【ランチョン・セッション】データの力を解放し、データの民主化を実現する

クリックテック・ジャパン株式会社 阿部 智師

リアルタイムデータに基づいた意思決定と迅速な行動によるDX、すなわち「アクティブインテリジェンス」の実現には、メインフレームやERPなどが有するデータを解放し、様々な活用に供する「データの民主化」と、組織内の誰もがデータに基づいて行動できるようにするための、人、プロセス、システムが一体となった「アナリティクスの民主化」が必要となる。本講演では、人工知能(AI)、機械学習(ML)、自動化、クラウドを駆使した、生データからアクションまでのエンドツーエンドのソリューションをデモを交えて解説する。

関連トピックス マスタ・データ管理、データ統合、データ品質

9月15日(木) 12:55-13:25 (30min)

ビジネス戦略と価値

Gartnerの第7回CDOサーベイ(2022年): 先を見越し、パーパスを重視し、浸透させる

ディスティンクティビティ バイス プレジデント, アナリスト フランク・パウテンダイク

本セッションでは、Gartnerの第7回CDOサーベイ(2022年)の調査結果を取り上げる。このサーベイは、CDO職やCDOオフィスがもたらしているビジネス・インパクトを探り、CDOが成功を収めるためのアクションを理解し、「先を見越し、パーパスを重視し、浸透させる」といったベスト・プラクティスを確かめるために実施されたものである。

関連トピックス アナリティクスとBI、データとアナリティクスのスキル構築、データとアナリティクスの戦略全般

9月15日(木) 12:55-13:25 (30min)

あらゆる場所にアナリティクスを

DevOpsやDataOpsを通じてアジャイルの原則を取り入れ、データウェアハウスの自動化を目指す

シニア ディレクター, アナリスト ラムケ・ラマクリシュナン

DevOpsやDataOpsの目的は、開発プロセス全体における効率と効果の向上であり、データウェアハウスのビルディング・ブロックを構築することも、その1つである。この工程には、データウェアハウスのライフサイクル管理に必要な計画の立案、分析、設計、開発、オーケストレーション、テスト、デプロイ、管理、運用、変更管理、文書化といった、あらゆるコア・プロセスが含まれ、データ・レイク、データウェアハウス、データマートなど、データ管理プロセス全体を自動化するテクノロジーが活用される。

関連トピックス 拡張データ管理、クラウド・アナリティクス、サービスとしてのデータ、クラウド・データ管理、データ統合、データウェアハウジング、データとアナリティクスの戦略全般

9月15日(木) 12:55-13:25 (30min)

先進テクノロジーとトレンド

注力すべきは、価値あるデータ資産の創出と管理

シニア ディレクター, アナリスト 一志 達也

どういった技術を用い、どのような形式や構造によって、どこでどうデータを管理するのか。そうした問いがGartnerによく寄せられるが、それよりも、価値あるデータの集合を見いだし、資産として管理し、活用を通じて資産価値を高めることを優先すべきである。その手段として、技術や環境、設備が必要となる。本セッションでは、D&Aリーダーが取るべきデータ資産管理の戦略と、合わせるべき取り組みの焦点を明らかにする。

関連トピックス 拡張アナリティクス、CDOの役割と必要性、データとアナリティクスの戦略全般

9月15日(木) 12:55-13:25 (30min)

先進テクノロジーとトレンド

予測的／処方的アナリティクスへと拡張して 価値を最大化する

バイス プレジデント, アナリスト カーリー・アイディーン

本セッションでは、従来の記述的／診断的アナリティクスから、予測的／処方的アプローチも含むよう拡張する方法について実践的なアドバイスを提供する。既存のアナリティクス・ソリューションを生かしながら、次のステップをどのように踏み出すべきかを明確にし、そのアプローチを実証する例を紹介する。

関連トピックス アナリティクスとBI、データとアナリティクスの戦略全般

9月15日(木) 13:45-14:15 (30min)

データの価値を飛躍的に高めるデータ共有サービスを 構築するには

Yellowfin Japan株式会社 林 勇吾

多くの企業は、社内にあるデータを活用し、自社の成長やコストダウンなどビジネス戦略に役立てています。そして、それらのデータ活用のためにアナリティクスツールを導入することはすでに一般的になっています。しかし、アナリティクスツールを使って社外にも自動でデータを共有し、自社ビジネスへの利益や付加価値を得ている企業の事例を目にすることはまだまだあまり多くありません。

本セッションでは実際の事例を交えながら、得られる利益やセンシティブなデータを保護しながらサービスを構築する方法などについて解説します。

関連トピックス アナリティクスとBI、データとアナリティクスの戦略全般、
データとアナリティクスのサービス・プロバイダ

9月15日(木) 13:45-14:15 (30min)

CXプロジェクト成功への道～マーケティングにおける 顧客データ活用を阻むものは何か？

株式会社EVERRISE 小木曾 正佳

One to One マーケティングの実現などマーケティングにおけるデータ活用が注目され始めて数年が経つが、実際にはその取り組みが行えていない企業が多い現状がある。課題は2つあり、1つ目はデータのサイロ化をはじめとしたデータの分断、そもそもデータが統合できないまたは必要なデータがないなどシステム観念の課題。2つ目はマーケティング部門とシステム部門の間にリテラシーや考え方に大きなギャップがある組織的な観念の課題がある。本セッションでは、マーケティング領域のシステム開発支援の数多くの実績をもとにこれらの課題に対するアプローチについて紹介する。

関連トピックス データ統合、データウェアハウジング、
マーケティング／顧客分析

9月15日(木) 14:35-15:20 (45min)

【ゲスト基調講演】ヘルスケアデータシステムの構築と 身体データの可視化で起こすイノベーション

株式会社RDS 代表取締役 / HERO X 編集長 / 4RE 代表 / 上智大学非常勤講師
杉原 行里 氏

58歳で自己最速タイムを記録した伊藤智也選手と開発した車椅子レーサーWFO1TRIは、ユーザーにとって最適なシーティングポジションを導き出し、感覚の数値化を行うSS01によって開発。SS01は、リハビリの現場で一般の車椅子ユーザーに対し「シートポジションの最適化」の提案を行っている。臨床的に意義のある歩行解析を簡便に行うCORE-Lerは、被験者が歩行する際に追尾・追従して撮影・解析することによって、被験者の抱える目に見えない未病リスクを解析する最新デバイス。あらゆる健康データを集約し、独自のアルゴリズムを用いて『新たな健康診断の指標』を導き出す、ヘルケアデータシステムの構築を目指す。

9月15日(木) 15:25-15:45 (20min)

【オープンシアター・セッション】近日公開(※逐次通訳)

シニア ディレクター, アナリスト ラムケ・ラマクリシュナン

9月15日(木) 15:45-16:00 (15min)

【オープンシアター・セッション】自然言語理解AIによる Small Data、Wide Data活用術

スマートインサイト株式会社 町田 潔

DXを推進する際、部門内利用に留まる全てのデジタルデータを横断的に素早く仮想的に統合し活用することが重要です。

本セッションでは最新の自然言語理解AIとアナリティクス機能を利用したユースケースをご紹介します。特にテキストデータを解析し、DBMSデータと共にコンテキストを理解し、予測・分類といった高度活用(拡張アナリティクス)へと結びつけることで実現できるビジネスアイデアを紹介します。Big Dataではなく、Small Dataでの問題解決、コンテキストを伝えてくれるテキストといったWide Dataを活用するユースケースのご紹介を通じて実践的な問題解決へのきっかけを掴んで頂けます。

Mugen(ミュージェン)の最大の特徴は構造化データに加えて非構造化データも同じフレームワークの上で扱い「見える化」や分析を進めることができる点にあります。構造化データを対象とするBI機能に加えて、テキストデータの文書検索、テキスト解析機能と組み合わせるなど、デジタルデータをフル活用できるようになります。

※本セッションは、Exhibit Showcase Hour中に展示会場にて開催します。事前予約は不要ですでお気軽にご参加ください。

関連トピックス アナリティクスとBI、人工知能(AI)、データ統合

9月15日(木) 16:00-17:00 (60min)

D&Aリーダーズ サークル

【D&Aリーダーズ・ラウンドテーブル】 データ&アナリティクスの価値を伝える、説得力のある バリュー・ストーリーを作る



バイス プレジデント, アナリスト 藤原 恒夫
シニア ディレクター, アナリスト 一志 達也

データ&アナリティクスに関する議論を、単なる「ビジネスの支援／実現化」から「価値に基づくデリバリー」へと転換するにはどうすればよいだろうか。

本セッションでは、CDOをはじめとするデータ&アナリティクスのリーダーが、データ&アナリティクスの価値に関する協議をどのように企業の内側から変えているかを解説する。

【参加対象】 D&Aリーダーズ サークル メンバー限定
定員制につき、お席に限りがございます。

関連トピックス リーダーシップ、最高データ責任者の役割と必要性

9月15日(木) 16:05-16:35 (30min)

ビジネス戦略と価値

ITスコアを用いて、データ／アナリティクスの 成熟度を理解する

バイス プレジデント, アナリスト ガレス・ハーシェル

データ／アナリティクスの成熟度を測るGartnerの自己評価ツールは、2,000以上の組織で採用されている。本セッションでは、そこから導き出された所見のほか、D&A向けのITスコアを用いて、成熟度を理解し、改善するためのベスト・プラクティスを紹介する(本セッションは、自己評価の実施の有無を問わず、組織に有益な情報を提供する)。

関連トピックス データとアナリティクスの戦略全般

9月15日(木) 16:05-16:35 (30min)

あらゆる場所にアナリティクスを

データ活用を推進する上で どのような役割を強化すべきか

マネージング バイス プレジデント 堀内 秀明

多くの企業がデータ活用に取り組みながらも、ビジネス成果を得ることに苦労している。本セッションでは、データ活用を推進する上でGartnerが必須と考える「役割」と、企業がそうした役割の強化ポイントを見極める方法について解説する。

関連トピックス CDOの役割と必要性、
データとアナリティクスのガバナンス、リーダーシップ

9月15日(木) 16:05-16:35 (30min)

あらゆる場所にアナリティクスを

CXの先には何があるのか

シニアディレクター、アナリスト 川辺 謙介

顧客は常に変化するため、それを追いつける各企業は、有益な顧客情報とその収集／分析方法を絶えず見直す必要がある。さらに、厳しい競争を勝ち抜きCXを通じて自社が成長していくためには、そのような活動から顧客インサイトを獲得するにとどまらず、より有効な活用方法を見だし、先取的に実践する必要がある。本セッションでは、不確実な未来に向けてこうした活動に取り組むD&Aリーダーの必須アクションについて提言する。

関連トピックス リーダーシップ、マーケティング／顧客分析

9月16日(金) 9:15-10:00 (45min)

【ゲスト基調講演】
教育に科学的根拠を
学びなおしが求められる今、リーダーが再確認しておきたい、教育の意義や在り方

慶應義塾大学 総合政策学部 教授 中室 牧子 氏

- 日本の教育政策の問題点
- 「私の経験」による支配
- 「勉強しなさい」は効果的か
- どうすれば子どもの勉強時間が伸びるのか?
- 子どもをご褒美で釣ってはいけないのか?
- 幼児教育の重要性
- エビデンスとは
- 次世代にもっと予算を
- 非認知能力とは何か
- 親の役割とは
- 教員の質の重要性
- 教員の「質」を何で測るのか
- なぜ日本で研究が進まないのか

9月16日(金) 10:15-10:45 (30min)

キーエンスの高収益を支える
「データ活用」試行錯誤の歴史とは?

株式会社キーエンス 柘植 朋紘

キーエンスの社名の由来は、Key of Science。営業利益率50%を超える高収益は、科学的で合理的なデータ活用が支えています。特に大切にしているのは、ドメイン知識を持ったビジネス部門が中心となり、主体的にデータを分析・活用し、ビジネスを動かしていく組織づくりです。しかし、過去20年にわたる試行錯誤の歴史は、決して順風満帆なものではありませんでした。「データ活用」をどのように組織に浸透させていったか?ぶつかった壁は何か?どう乗り越えたか?データ人材育成に重要なことは何か?などを、当時のエピソードを交えながら、生々しい体験をご紹介します。

関連トピックス アナリティクスとBI、データとアナリティクスの戦略全般、マーケティング/顧客分析

9月16日(金) 10:15-10:45 (30min)

実践事例に学ぶ データドリブンカンパニー変革の道
～データ活用を成功させたいリーダー達へ～

株式会社NTTデータ 重 彰記

加速するデジタル化と激変する経営環境において、真の成功に向けて必要となるのがデータドリブンカンパニーへの変革です。ただしその道のりは平坦ではなく、どのように変革を進めればよいか分からない、人材不足や個別システムの壁など様々な障壁により思うように変革が進まない、という企業も多く見られます。NTTデータはこれまで、データドリブンカンパニー化の構想策定から実行支援まですべての段階でお客様と共に考え行動することにより、お客様の変革を実現してきました。

本セッションでは実際の事例をもとに、データドリブン経営の実現にあたって企業がぶつかる壁や、先駆的な企業が何をブレイクスルーし、どのような成果につなげてきたかをご紹介します。また、変革を進めるためのステップと秘訣をお話します。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、データとアナリティクスの戦略全般、リーダーシップ

9月16日(金) 11:05-11:35 (30min)

ビジネス戦略と価値

持続可能性と地政学を通じて、データ活用を前進させる

バイス プレジデント、アナリスト 藤原 恒夫

持続可能性と地政学は、今日の多国籍企業に影響を与える2つの重要な力であり、CEOはこれらをビジネスの優先事項と見なしている。最高データ責任者(CDO)は、これら両方に関して自社を支援することができ、また、そうすることで経営幹部の間での自らのポジションを引き上げることができる。本セッションでは、これらのイニシアティブの基礎知識と、CDOが実行すべき推奨アクションを解説する。

関連トピックス CDOの役割と必要性、リーダーシップ

9月16日(金) 11:05-11:35 (30min)

信頼、ガバナンス、プライバシー

ベスト・プラクティス：最良のビジネス価値を得るために、
信頼のおけるデータを共有する

シニア デイレクター、アナリスト ドナ・メデイロス

デジタル・ビジネスの加速、新たな売り上げの創出、コストの最適化、リスクの軽減、それらにデータ共有は不可欠である。本セッションでは、ビジネス上の急務と言えるデータの共有に焦点を当て、戦略的なベスト・プラクティスを紹介する。これにより、データ/アナリティクス・リーダーが近代的なデータ共有を実現し、ステークホルダーの優先課題、企業の目標、組織のメリットと整合できるように支援する。

関連トピックス データとアナリティクスの戦略全般

9月16日(金) 11:05-11:35 (30min)

信頼、ガバナンス、プライバシー

マスタ・データ管理の基礎

シニア デイレクター、アナリスト サリー・パーカー

本セッションでは、マスタ・データ管理(MDM)の基礎的な概念を、以下のトピックに基づいて解説する。

- ・ マスタ・データとは何か、なぜそれが重要なのか
- ・ そのビジネス上のメリットは何か
- ・ 成功するMDMプログラムの在り方やテクノロジー・コンポーネントは何か
- ・ MDMの今後のトレンドはどのようなものか

関連トピックス マスタ・データ管理

9月16日(金) 11:05-11:35 (30min)

先進テクノロジーとトレンド

Beyond 2030: 企業が生き残るために認識すべき
破壊的トレンドとアクション

ディスティンクティヴ バイス プレジデント、アナリスト 亦賀 忠明

2030年以降の世の中は、今とはまったく異なる世界、すなわちNew Worldになる。テクノロジーのパワーは増し、それをドライブできる企業とそうでない企業の間には大きな差が生まれる。

本セッションでは、企業が2030年以降も生き残るために認識すべき重要な破壊的トレンドと取るべきアクションについて議論する。

関連トピックス 人工知能(AI)、拡張アナリティクス、データとアナリティクスのテクノロジー、データ・サイエンスと機械学習

3日目：9月16日(金)

9月16日(金) 11:05-11:50 (45min)

先進テクノロジーとトレンド

【Ask the Expert】注力すべきは、 価値あるデータ資産の創出と管理



シニア ディレクター, アナリスト 一志 達也
マネージング バイス プレジデント 堀内 秀明

本セッションでは、「注力すべきは、価値あるデータ資産の創出と管理」を基に、データ管理の手法について、Gartnerのエキスパートが回答する。

(注：ご参加に際しましては、質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
定員制につき、お席に限りがございます。

関連トピックス 拡張アナリティクス、CDOの役割と必要性、
データとアナリティクスの戦略全般

9月16日(金) 11:55-12:25 (30min)

【ランチョン・セッション】データドリブンな意思決定に 役立つデジタルインテリジェンスとは？

シミラーウェブジャパン株式会社 松倉 和也

世界は不確実性の高い時代に入り、コロナウイルスの感染拡大は消費者の動向や心理を大きく変化させました。2022年よりコロナの影響は遠のきつつありますが、それと同時に日本は物価高低成長の時代に入りつつあり、企業は不透明な環境の中不況と競争に向き合う必要に迫られています。こうした環境の中、マーケティングにおいて中長期的な戦略は意味を成しません。

このセッションでは、世界中の企業に導入されているイスラエル発のマーケティングインテリジェンス企業であるSimilarwebが、こうした不確実性が高く困難な環境の中でマーケティングインテリジェンスが果たし得る役割と活用イメージについてご紹介いたします。

関連トピックス クラウド・アナリティクス、サービスとしてのデータ、
クラウド・データ管理、マーケティング／顧客分析

9月16日(金) 11:55-12:25 (30min)

【ランチョン・セッション】 リアルタイムデータとオープンソースの利活用

DataStax 木本 吉信

リアルタイムデータは、企業のデータの扱い方を根本的に変えようとしています。顧客にとって実質的な価値を生み、ビジネスの効率を高めるために、企業はより短時間でのデータの取り込み、処理、利活用に取り組んでいます。大規模かつグローバルにスケールし、リアルタイムデータの取り扱いに求められる可用性を提供する鍵となるのがクラウドネイティブです。オープンソースはこうした要求に応える技術を進展させています。これらがリアルタイム強化を目指す企業にとってどのような意味を持つかを検討します。

関連トピックス クラウド・アナリティクス、サービスとしてのデータ、クラウド・データ
管理、データ統合、ストリーミング／リアルタイム・アナリティクス

9月16日(金) 11:55-12:25 (30min)

【ランチョン・セッション】データコラボレーションと マーケットプレイス - データ共創により加速するDX

Snowflake株式会社 井口 和弘

過去から将来起こりうることを分析・予測したりビジネスをより効果的かつ効率的に計画・実行していくためには、自社データ、パートナーデータ、オープンデータなどの様々なデータを活用した分析はより重要となります。そのためには、データを利用する側とデータを提供する側の相互の立場で、データそのものやデータを活用するサービスやアプリケーションの共有、データ取得までの障壁の除外、活用までの時間の削減、データのビジネス価値を高めていくための「共創」の実現が一企業のみならず社会全体が必要とされています。本セッションでは、データコラボレーション時に懸念されるセキュリティやガバナンスを保ちつつ即時かつ容易にクラウドやリージョンをまたがるデータやアプリケーションの共有を実現し、その「共創」によってもたらされたデータをビジネスインテリジェンスやデータサイエンスなどの様々な用途ですぐに活用することができるSnowflakeのデータクラウドのデータコラボレーションとマーケットプレイス活用のポイントを紹介します。

関連トピックス データ・サイエンスと機械学習、
データ・セキュリティとプライバシー、データ共有

9月16日(金) 12:55-13:40 (45min)

ビジネス戦略と価値

【パネル・ディスカッション】 データ人材の採用、育成、活躍をいかにリードするか

シニア ディレクター, アナリスト 一志 達也

パネリスト (社名五十音順)

慶應義塾大学 総合政策学部 教授 中室 牧子 氏

一般社団法人データサイエンティスト協会 代表理事

デジタルリテラシー協議会 協議委員 高橋 隆史 氏

三井住友海上火災保険株式会社

執行役員 ビジネスデザイン部長 本山 智之 氏

今日、日本の大企業の多くにおいて、デジタル人材やDX人材の採用／育成が大いに話題となっている。採用に当たっては求人要項に悩み、給与体系に悩み、採用基準に悩んでいる。また、育成するにしても人選に悩み、方法に悩み、魅力的な職場づくりに悩んでいる。

こうした悩みが尽きない中、データ関連人材をいかに採用し、あるいは発掘して育成すればよいか。どのように活躍の場を用意してキャリアパスを描き、どう評価して満足感を高めるか。その戦略や実践について、次のアクションにつながる気づきを得られるよう、有識者や経験者をパネリストに迎えてディスカッションを行う。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、リーダーシップ、
データとアナリティクスの戦略全般

9月16日(金) 13:50-14:35 (45min)

【ボードルーム・セッション】ROIC経営の定着と そのためのデータ管理基盤とは



クリックテック・ジャパン株式会社 今井 浩

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
定員制につき、お席に限りがございます。

関連トピックス リーダーシップ、コンプライアンスと法規制、
データとアナリティクスのサービス・プロバイダ

9月16日(金) 14:00-14:30 (30min)

データレイクハウスの未来: 国内先進企業の実例とモダンデータアーキテクチャの動向

Cloudera株式会社 大澤 毅

組織の中で散在するデータがサイロ化してしまい、その活用に問題は発生していないでしょうか?サイロ化したデータをユーザーのニーズに応じて組み合わせることで、知識として最大限活用する“データ駆動型イノベーション”の実現が求められています。しかし、その実現には社内におけるデータリテラシーの向上はもちろん、データエンジニアやデータサイエンティストの育成・活躍にも繋がる、セキュアに整理・管理された統合データプラットフォームが必須です。本セッションでは日本企業におけるハイブリッドデータクラウドでの実現事例を通じて“データ駆動型イノベーション”を実現するためのモダンデータアーキテクチャについて紹介します。これまで難しかった社内外に散在する構造化データや非構造化データといったデータをニーズに基づきデータを収集・加工・分析でき、大容量データでも高速に分散処理し、BI ツールや解析システムとシームレスに接続可能にします。また、プライバシー保護等のコンプライアンスを遵守したデータ処理も実現します。

関連トピックス データとアナリティクスの戦略全般、クラウド・アナリティクス、サービスとしてのデータ、クラウド・データ管理、データ・サイエンスと機械学習

9月16日(金) 14:00-14:30 (30min)

実録! データ活用の泥臭さと戦った者たち — 事例に学ぶ「データからビジネス成果を生むコツ」

ウイングアーク1st株式会社 小林 大悟

課題の分析、現場業務の効率化、顧客ニーズの理解など、企業活動のベースとなる重要な位置づけを占めてきています。

一方、データを活用してビジネス成果を得るためには、ITシステムの導入だけでなく、知見、人材、日常業務への組み込み、データマネジメントといった「データ活用の環境」を整える必要があります。本セッションでは、このようなデータ活用の泥臭い部分に目を向け、どう戦うべきなのか、事例を通して考察していきます。

関連トピックス アナリティクスとBI、リーダーシップ、データ統合

9月16日(金) 14:40-14:55 (15min)

【オープンシアター・セッション】世界の先進企業が取り組むデータ分析の課題とケーススタディ [出展: Vertica]

マイクロフォーカス 外岡 海人

Uberなど世界の先進企業が取り組むデータ分析の課題をどのように解決したか事例を紹介します。機械学習の取り組み、マルチクラウド対応、データセキュリティ対策など広範囲な課題への取り組みを説明します。

9月16日(金) 15:00-15:45 (45min)

ビジネス戦略と価値

【Ask the Expert】 日本でデータ主導の文化を採用するために

バイス プレジデント, アナリスト 藤原 恒夫

日本の企業や経営陣は、ビジネスの意思決定に際して、直感、経験、根性、精神、勇気に頼っており、データを活用する文化はまだ根付いていない。本セッションは、データ主導の文化に変える方法について、日本で機能するベスト・プラクティスを議論する機会を提供する。結局のところ、経営陣を含め職場の文化を決めるのは、そこで働く人なのだ。(ご参加に際しましては、質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】 ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
定員制につき、お席に限りがございます。

関連トピックス CDOの役割と必要性、リーダーシップ、データとアナリティクスの戦略全般

9月16日(金) 15:15-15:45 (30min)

ビジネス戦略と価値

MDMは、ビジネスのどこに、どのように価値をもたらすか

シニア ディレクター, アナリスト サリー・パーカー

マスター・データ管理 (MDM) プログラムは、エンドユーザーからコミットメントを得られるよう、主要なビジネスの推進要因と結び付いている必要がある。本セッションでは、MDMがビジネスのどの分野に、どのように価値をもたらせるのかを事例を交えて解説する。

- ・MDMがビジネスに付加価値をもたらすシナリオとはどういふものか
- ・MDMが提供する能力とビジネス価値を結び付けるにはどうしたらよいか
- ・最も効果的に価値を伝えられるようユースケースを分類するにはどうしたらよいか

関連トピックス リーダーシップ、マスター・データ管理

9月16日(金) 15:15-15:45 (30min)

あらゆる場所にアナリティクスを

データベースの移行: そのメリットとデメリット

シニア ディレクター, アナリスト ラムケ・ラマクリシュナン

データベースの移行は容易ではない。しかし、IT資産を刷新してさらなる利益を得るためには必要になることもある。クラウドへの移行をきっかけに、データベースの移行も相次いでいる。製品の移行は想定よりコストや時間がかかり、失敗しやすいため、ベスト・プラクティスのアプローチが不可欠である。本セッションではその方法を伝授する。

関連トピックス クラウド・アナリティクス、サービスとしてのデータ、クラウド・データ管理

9月16日(金) 15:15-15:45 (30min)

先進テクノロジーとトレンド

データとアナリティクスにおける ギグ・ワーカーの活用動向

シニア プリンシパル, アナリスト 中尾 晃政

デジタル・ビジネスの推進において、関連スキルを保有する人材の不足に悩む企業は多い。こうした中、外部のリソース活用において、フリーランスを含めたギグ・ワーカーの活用を実践する企業が出てきている。本セッションでは、クラウド・ソーシングやギグ・ワーカーを提供するサービスの最新動向を解説するとともに、D&A分野での事例を踏まえ、これを効果的に活用するポイントを提示する。

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、データとアナリティクスのサービス・プロバイダー、リーダーシップ

9月16日(金) 15:15-16:45 (90min)

ビジネス戦略と価値

【ワークショップ】 データ&アナリティクスの成熟度を測定し、 デジタル・ビジネスの高みを目指す

エグゼクティブ パートナー (ガートナー エグゼクティブ プログラム) 大澤 佳史

デジタル・ビジネスを加速するためには、データ&アナリティクスをいかに駆使してビジネス価値を引き出すかが極めて重要になる。直面する課題の解決に向けて、全体を評価しながら、優先順位を決めていかなければならない。本ワークショップでは、目標を再確認した上で、Gartnerのフレームワークを使って自社の置かれている現状の成熟度を客観的に分析し、ステークホルダーに働き掛ける糸口を見つけ出ししていく。

【参加対象】 ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
定員制につき、お席に限りがございます。

関連トピックス リーダーシップ、CDOの役割と必要性、アナリティクスとBI

9月16日(金) 16:05-16:35 (30min)

ビジネス戦略と価値

データ・ドリブンの基礎: データ・リテラシーとデータ・ドリブなビジネス・トランスフォーメーションに着手する

シニア ディレクター, アナリスト ドナ・メデイロス

データが組織にますます浸透する中、すべての従業員が「データで語れる」ことの重要性が高まっている。本セッションでは、データ/アナリティクス・リーダーを対象に、データ・ドリブなビジネスを実現する鍵であるデータ・リテラシー・プログラムを取り上げ、それを始動するための基礎として以下について解説する。

- ・データ・リテラシーへの意識向上を促し、変化の必要性を明確にするには
- ・データ・リテラシーを試行し、それがもたらす価値を体験するには
- ・他の幹部と連携してデータ・リテラシー・プログラムを統率し、データ主導型の文化を共創するには

関連トピックス データとアナリティクスのスキル構築、リーダーシップ

9月16日(金) 16:05-16:35 (30min)

あらゆる場所にアナリティクスを

データ活用にまつわるよくある悩みへの処方箋

マネージング バイス プレジデント 堀内 秀明

多くの組織において、データ活用力の強化が喫緊の課題として叫ばれている。その背景は組織によって異なるが、強化を進めるに当たり共通して生じる悩みも数多くある。本セッションでは、主に組織と人材という観点から、データ活用力を高める上で理解しておくべきポイントを解説する。

関連トピックス データとアナリティクスのテクノロジー、データとアナリティクスの戦略全般

9月16日(金) 16:05-16:35 (30min)

あらゆる場所にアナリティクスを

モジュール型のアナリティクスをビジネス指向で構築するために、コンポーザブルなデータ/アナリティクスを用いる

バイス プレジデント, アナリスト カーリー・アイディーン

アナリティクスによる分析能力のモジュール化が進んでおり、ローコード/ノーコードと相まって、データ・ファブリックを活用したソリューションへの導入が始まっている。組織は、ビルディング・ブロックを組み合わせることで、モノリシックなアプリケーションに代えて、カスタマイズしたアナリティクスを構築できる。

本セッションでは、コンポーザブルのアプローチによってデータ/アナリティクスとアプリケーション開発の橋渡しを行い、洞察を行動に転換できるよう、データ/アナリティクス・リーダーを支援する。

関連トピックス アナリティクスとBI、データとアナリティクスのテクノロジー

9月16日(金) 16:05-16:50 (45min)

先進テクノロジーとトレンド

【Ask the Expert】



新たな時代に向けて獲得すべきマインドセット

ディステイングイッシュト バイス プレジデント, アナリスト 亦賀 忠明

2030年、またそれを超えて到来するであろう新たな時代(New World)に対応すべく、企業は新しいマインドセットを獲得する必要がある。

本セッションでは、アナリストへの質問を通じて、これからの時代に生き残るためのマインドセットに関する新たな気づきをリーダーに提供する。

(ご参加に際しましては、質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】 ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
定員制につき、お席に限りがございます。

関連トピックス 人工知能(AI)、拡張アナリティクス、データとアナリティクスのテクノロジー、データ・サイエンスと機械学習